

おもいやりの輪

いじめ防止対策通信
第1号
令和3年9月27日
白金の丘学園

自分も人も大切に～かけがえのない大切な一人ひとり～

白金の丘学園では、保護者・地域の方、学校関係者と年間2回の「白金の丘学園いじめ防止対策委員会」を開催しています。「いじめ防止対策委員会」は、委員の方々と校内外のいじめ等について情報交換を行い、学校及び地域におけるいじめ等の防止について協議し、具体的な対策を考える重要な委員会です。今年度1回目は、9月17日（金）に行いました。当日の内容は意見交換をご覧ください。

また、本学園ではいじめ防止に係る取組内容について、基本方針を策定し公表しています。「白金の丘学園いじめ防止基本方針」は次項をご覧ください（学校ホームページにも掲載しています）。

令和3年度 第1回いじめ防止対策委員会 次第

- 1 委員長（校長）あいさつ
- 2 委員自己紹介
- 3 学校生活アンケートから見られる児童・生徒の様子について（生活指導部）
- 4 学校における児童・生徒の様子（養護教諭・教務）
- 5 いじめ防止の取組について
- 6 意見交換

白金の丘学園いじめ防止対策委員会

委員長 学園校長	T・K
副委員長 副校長	K・N
	R・W
	R・U
学校担当弁護士	H・O
主任児童委員	N・S
青少年対策 白金地区委員会長	H・I
小PTA会長	T・T
中PTA会長	T・O
生活指導主任	Y・O
	S・T
養護教諭	M・O
	K・A

・スクールカウンセラー

<意見交換>

- ・子どもたちのSNSのトラブル（LINE等）は学校外でおこっている。携帯を持っている、持っていないということからの仲間外し、相手の表情、反応が見えないことから相手意識の欠如、匿名性など。
- ・町田のタブレット端末に悪口を書き込んで送信したいじめ被害の報道を受けて、白金の丘小学校では、緊急放送朝会で「人が嫌な気持ちになることをしたり言ったりしない」「いじめは絶対にゆるされない」ということを児童に伝えた。
- ・道徳の授業等で、「どんなことが嫌か、不愉快になるか」いろいろな意見を出し合い、共有し合い、自分たちで自覚して、考え行動していく必要がある。
- ・言葉で伝える勇気をもつことや、伝えられるという信頼関係をつくることが大事である。
- ・コロナ禍等で、制約の多い日々の中で大人も子供もストレスを抱えている。トラブルは起こるものだが、早期発見、早期解決が大事である。アンテナを高くして、子供に向き合うこと。
- ・医療従事者や新型コロナウィルス感染者、ワクチン接種等への差別やいじめについて、くり返し朝会等で話をしている。子どもを守り抜く姿勢が大事である。

〇どの子もかけがえのない大切な子どもです。いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて、学園の総力をあげて取り組みます。子どもたちが悩んでいる、困っていることを見聞きしたら、すぐに副校長、担任までご連絡くださいますようお願いいたします。